

	<p style="text-align: center;">練馬区独立70周年記念事業  <b>豪華絢爛な時代絵巻「照姫まつり」が開催</b>                  ～70周年記念イベント「鷹狩」、「鉄砲隊演武」を実施～</p>
<p>と き</p>	<p>4月23日(日)午前10時～午後3時30分</p>
<p>と ころ</p>	<p>都立石神井公園(石神井台1-26-1)とその周辺</p>
<p>23日、都立石神井公園とその周辺で、練馬区独立70周年記念事業「第30回照姫まつり」が開催された。会場は家族連れなど約10万人の人出でにぎわった。</p> <p>「照姫まつり」は、地元の石神井に伝わる照姫伝説にちなんだまつりで、練馬の春の祭典である。</p> <p>華やかで美しい時代衣装を身にまとった照姫を中心に、鎧姿の武者などで構成された約100人の「照姫行列」が、公園内の野外ステージを出発し、公園周辺の約2kmをおよそ2時間かけて練り歩いた。</p> <p>練馬区独立70周年となる今年は、幕末の砲術家高島秋帆(たかしましゅうはん)ゆかりの鉄砲隊による演武、練馬地域が徳川將軍家の鷹場だったことにちなんで、鷹匠による鷹狩でまつりを盛り上げた。また、親子で楽しめるチャンバラ合戦や、甲冑・和装コスプレイヤーが照姫行列と一緒に練り歩くなど、区民参加のイベントも実施した。</p> <p>照姫役を務めた木下 綾乃さん(高校2年生)は「舞台演技の練習は大変でしたが、多くの方々が見に来て、声援や拍手をいただき、大きな力になりました。照姫が地元の皆さんに愛されているのだと改めて感じました。」と話していた。</p>	



▲出陣式の様子



▲照姫行列の様子

**【照姫まつりとは】** 主催：照姫まつり推進協議会(照姫まつり実行委員会、練馬区)

照姫まつりは、室町時代中期に石神井城を本拠地とした豊島泰経の娘として語り継がれている照姫にちなんだまつりで、毎年、春に開催されている。照姫は、石神井城が太田道灌(おおた どうかん)により落城した際、泰経の後を追って自らも三宝寺池に身を投げ、命を絶ったと言われている。



▲鉄砲隊演武の様子

**【出陣式と照姫行列に、観衆から大きな拍手と声援】**

正午ごろ、照姫、泰経、奥方の三役をはじめ、武者等が野外ステージに登場。豊島氏の繁栄から滅亡の様子を描いた『照姫伝説』が披露されると、会場は大きな拍手に包まれた。三宝寺池に眠るとされる龍神を先頭に、総勢約100人の照姫行列が登場すると沿道で待ち構えていた大勢の観客が大きな歓声や拍手を送り、三役は手を振りながら、笑顔で応えていた。



▲鷹狩の様子

**【独立70周年記念イベント～鷹狩、鉄砲隊演武のほか区民参加型イベントを開催！】**

練馬区独立70周年を記念し、歴史と伝統に触れるイベントを開催した。鷹狩、鉄砲隊演武のほか、狂言ワークショップや豊島泰経を題材にしたチャンバラ合戦の開催、甲冑ワークショップ・甲冑試着体験、甲冑・和装コスプレイヤーによる「和装行列」など、参加型イベントも充実し、まつりを盛り上げた。

**【問い合わせ】** 練馬区 商工観光課 まつり係 電話03-5984-2389